

県央経営者会会報

第三号

発行：平成17年11月



あいさつをする大泉会長



講師の厚木市長 山口顧問



司会進行の久保田理事



県央経営者会第二回例会開催

日時 平成17年10月12日
会場 厚木ロイヤルパークホテル

平成17年10月12日、午後5時より厚木ロイヤルパークホテルにて「県央経営者会」の第二回例会が開催されました。当 日は90余名の会員が集まり活気ある例会が開催されました。 今回から各地区が司会進行を担当することになり、海老名・ 座間地区の久保田氏が例会の司会を担当しました。まず (株)あい薬局グループの金知出氏の開会宣言に続き大泉政 治会長の挨拶があり、かねてより検討してきた部会について の紹介と説明がありました。各部会の説明は、9月20日に開 いた検討会で討論された内容を基に、各部会長が要領よく まとめて報告されました。会員は例会中にその内容を検討 して各部会に所属するよう要請があり、全員が熱心に部会 報告に聞き入りました。引き続き例会行事のメインテーマ、山 口巖雄厚木市長の講演が「魅力あるまちづくりと経済効果」 と題して行われました。講演は厚木市が現在取り組んでいる 種々の問題を、非常にわかりやすく解説されたもので、会員 にとって有益な知識が得られた内容でした。講演のあと大泉 会長から山口市長に対してお礼の言葉があり、「まるで企業 経営者のお話かと思われるほど実践的経営感覚に満ちたお 話であった」との賛辞が寄せられました。次に事務局からのお願 いと、次回例会についての報告があり(株)誠電社の竹村和 子氏の閉会宣言により第二回例会が無事終了しました。例 会終了後直ちに懇親会に移り、参加会員一人ひとりの自己紹 介があり、会員がどのような業種なのか始めてわかつたとい う、有意義な親交の場として多いに盛り上がった夕でした。



厚木市は市制50周年を迎え、これからの中50年
の更なる飛躍を目指すため、将来に向けた都市
基盤整備や豊かな自然を活かした地域再生およ
び高齢者等福祉充実のほか、防災や治安など安
心安全対策にも重点をおいたまちづくりを推進
しています。

山口巖雄厚木市長特別講演 「魅力あるまちづくりと経済効果」

1 地域再生計画について

厚木市は市中心市街地における大型店舗の撤退
が進み、遊技場や駐車場としての土地利用が目立
つきました。いまや市中心市街地の活性化は緊急の
課題となっています。そのための施策として本厚
木駅周辺の地域が「都市再生緊急整備地域」の指
定を受けたことや、「地域再生マネージャー」の制度
による支援措置の適用や更なるインセンティブ政
策の検討を進め、民間活力による活性化を図ること
ができるようつとめています。本年3月には、本
厚木駅周辺がバリアフリー重点整備地区、いわゆ
るスープーバーモデル地区の指定を受けています。

2 健康づくり大学

厚木には豊かな自然があり、この自然環境を活
かした「健康づくり村構想」や「スローライフ・ライ
ルド・ミュージアム」という考え方により、地域の活性
化を目指して、市民と協働で具体的な計画作りに
取り組んでいるところです。とくに地域は何を売
り物にしていくか、お客様が来る手法を考えていく
ことが大切であると思っています。

3 行政の意識改革

「行政改革」では、今まで「行政がやるもののは
何か」と考えてきましたが、これからは市民が主体
的に活動できる環境、条件の整備を整えることが
必要と考へています。また、行政評価システムの導
入による成果重視の行政の実現を目指し、そのた
めの「ヒントとチャンスはどこにでもある」との考
えを強調しています。

5 鉄道問題

この会でも取り上げています、相鉄線の秦野までの
乗り入れの問題をはじめとする鉄道の問題は、こち
らから働きかけなければ何も動きません。鉄道会社
は自分からはやってくれません。しかいま橋本にリ
ニアの計画があり、これと新幹線を結ぶためのJR
複線化は十分考えられると思います。いずれにしても、これからは県央を住みよい街にしていくという目
標に変わりはないわけですから、土地の問題などは
行政として積極的に取り組んでいくべきであると考
えています。

- 講演に対する質疑・大泉会長から相鉄線の秦野への乗り入れ実現には多額の資金が必要と聞いてい
ますが、地元として資金負担が可能かどうかとの質
問があり、それに対しても山口市長は「市として実
現が決定するならば資金負担する可能性はある」
との心強いご回答がありました。

4 市の健康診断

20世紀は鉄道の時代、21世紀はハイウェーの時代
であるといわれていますが、今後はさらに第二東名
など、新たに4つのインターチェンジ設けられる予
定のため、これらの街づくりには道路の問題が特
に重要な要素になっております。

懇親会会場



第1回合同部会が9月20日(火)、46名の会員が参加し厚木商工会議所にて開催されました。当日は厚木市地域再生マネージャーでもあり、県央経営者会まちづくりコンサルタントの奥村隆史氏によるリードで、5つのグループに分かれワークショップ形式で今後の部会の活動内容や方向性を討議しました。

第1グループでは「相鉄線を秦野まで引込むことによる地域の活性化や問題点」をテーマとして議論し、「乗り換えなしで横浜まで行ける。」「横浜でお金を使う、結果神奈川県が潤う。」などの意見が出る一方で「横浜へ人が行き街(県央地区)が空洞化する。」などを懸念する意見もありました。

第2グループでは「ロマンスカーの伊勢原停車と相武台への急行の停車」をテーマとし、「大山文化を大切にする機運がでる。」「観光産業の活性化が人口の増加を招き市の発展につながる。」などの鉄道と地域経済の相乗効果について討論されました。また座間・相武台への急行の停車によって座間市の発展に期待が持てるとの意見もしました。

第3グループでは「JR小田原駅にひかりの常時停車による経済効果」をテーマに討議され、「箱根や熱海の観光事業に貢献する。」「小田原周辺のアクセスが容易になり工場誘致につながる。」などの意

見が交わされ、さらに「中京地区とのパイプを深める。」「関西方面への出張、旅行が楽になる等メリットがある。」といった他県との繋がりについての意見もしました。

第4グループでは「JR相模線の複線化と新幹線新駅の実現について」をテーマとし議論が交わされました。新幹線新駅実現化については、新幹線新駅相模線の複線化、海老名駅のターミナル化により、圏央道とのリンクによる利便性などが検討されました。新幹線新駅実現化が実現すれば「湘南地区の人の流れビジネスの活性化が増大する。」「県央地区がビジネスの主体的地域に変わる。」などの経済効果が期待できるという意見がありました。

第5グループは自由テーマとし、「道路交通網の整備と渋滞の解消について」討議されました。その中で厚木市内の交通事情改善がクローズアップされ、東名厚木インター周辺のバイパスの整備、相模川右岸に市道(2車線以上)の設置、相模川の新橋建設、129号線の拡張、246号線の片側2車線化、といった意見がでました。

今後は、合同部会で検討された内容に基づき、各部会を立ち上げ、部会別に活動を進め県央地区の経済発展に繋げて行きたいと考えております。



県央経営者会

まちづくりコンサルタント
奥村 隆史氏

- 昭和41年 早稲田大学理工学部建築学科 卒業
- 昭和42年 フランス政府給費留学生として渡仏
- 昭和46年 早稲田大学大学院 卒業
- 鹿島建設(株) 入社
- バイオニア本社ビル 設計
- 昭和52年 ジェダ・王宮及び皇太子宮(サウジアラビア) 実施設計
- 昭和59年 ホテル日光アンスプリ 設計・管理
- 平成14年 (株)イリア 参与・鹿島建設(株)退社 東京建築士会まちづくり委員会 委員
- 平成15年 練馬区まちづくり条例検討委員会 委員
- 平成17年 厚木市地域再生マネージャー(都市デザイン担当)
- 厚木市土地利用転換推進計画(委託調査業務)
- 厚木市都市水路計画協議会 委員

第一回合同部会開催

新幹線 新駅構想について

1. 新幹線新駅の実現に関して

現在「神奈川県東海道新幹線新駅促進期成同盟」(以下、期成同盟と略)という会があり、平成8年5月に発足しかなり活発に活動しています。そこで県央経営者会でも県央地区発展のため新駅実現も活動事業のひとつとしていますので、期成同盟の活動内容について報告します。

2. 期成同盟の構成

会の会長は神奈川県知事、副会長には厚木市長、藤沢市長、商工会議所連合会会頭、副知事が名を連ね、監事に平塚市長、綾瀬市長が就任しています。会員としては茅ヶ崎、相模原、伊勢原、海老名、座間、寒川の各市・町長が参加されています。

3. 期成同盟の活動目的

新駅誘致地区を倉見地区とし、JR東海を始め関係機関へ要望活動を行っています。また、同時に県央・湘南都市圏における「環境と共生する都市づくり」を推進して、まちづくりや交通アクセスなどの具体的な検討・討議を進めています。すでに藤沢、厚木、平塚で県民フォーラムを開いて新駅実現のためのPRを行っています。

これに関しては、11月17日に行われました「県民フォーラム・新幹線新駅を生かした地域づくり」に当会の長谷川理事が参加され、当日の資料をいただきましたのでご覧になりたい方は事務局までご連絡下さい。なお、期成同盟のホームページからも内容はご覧になれます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/shin-eki/doumeikai.htm>

4. 県央経営者会との連携

以上のように期成同盟はかなり活発に活動していますが、いかんせん行政を中心になっての活動であり、企業の要望をどれだけ反映するものか一抹の不安があります。そこでわれわれ県央経営者会でも、新駅実現は県央にどのような影響があるのか、相鉄線の小田急線乗り入れとどう関連するのかなど重要な課題のひとつとして捉え、県央地区発展のため今後は期成同盟のバックアップとともに積極的な取り組みを推進していきたいと考えております。

メール案内

事務局にメールを開設しました。
kenou-k@tanzawa.or.jp

月曜会ご案内

経営のことやまちづくりのことなどを、大泉会長を囲みサロン形式で行う月曜会を開催いたします。

■第一月曜日 ヤング会
■第二月曜日 秦野、伊勢原、平塚地区
■第三月曜日 厚木、海老名、座間

とさせていただきます。会員の方はもちろん自社の優秀な若手幹部の方たちを是非参加させてください。会場は県央経営者会事務局(厚木商工会議所403号室)で参加費は500円です。詳細又は開催日についてのお問い合わせは事務局までお願いします。

12月例会ご案内

事務局便り

日 時	12月5日(月)午後5時より
会 場	厚木ロイヤルパークホテル2階暁紅の間
内 容	神奈川県県央湘南地域総合整備計画における湘南湘北アクアタウン構想について
講 師	吉川設計一級建築事務所
代 表	吉川 昭氏

※例会に引き続き懇親忘年会を行います。今年最後の例会ですので、万障お繰り合わせの上奮ってご参加下さい。